

## アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	弟子屈町アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業) (コミュニティ活動支援事業) の別
3 事業の目的	アイヌ文化等の次世代への継承を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目標とする。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>■屈斜路コタンアイヌ文化アーカイブ化事業</p> <p>○事業実施主体 弟子屈町</p> <p>○事業の実施場所 屈斜路コタン地区</p> <p>○委託先(作製支援) コンサルタント会社</p> <p>○事業の実施期間 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 屈斜路コタン地区は古くからアイヌ民族が暮らし、地域独自のアイヌ文化を形成してきたが、近年は担い手の不足により、次世代への文化継承や史実の記録化が課題となっている。</p> <p>このことから、地域の古い歴史や伝承文化を知る高齢の民族関係者が健在の内に、細部に亘る地域史の記録化を行い、地域における文化継承活動や文化学習への有効活用に向けた歴史的な地域資源のアーカイブ化に取り組む。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>■多機能型生活館整備事業</p> <p>○事業実施主体 弟子屈町</p> <p>○事業の実施場所 屈斜路コタン地区</p> <p>○委託先(実施設計) 設計コンサルタント会社</p> <p>○事業の実施期間 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 アイヌの人々が多く住むコタン地域の生活機能の向上、加えてウタリ自然公園地域の魅力向上を目指しアイヌ文化の体験・伝承の場の創出を図るため、老朽化が著しい現在の古丹生活館を廃止し、多機能型生活館として新たなコミュニティ施設を整備する。</p>
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <p>■屈斜路コタンアイヌ文化アーカイブ化事業</p> <p>屈斜路コタン地区は古くからアイヌ民族が暮らし、地域独自のアイヌ文化を持ちながら生活や文化の伝承活動が行われてきたが、近年は担い手不足や高齢化により次世代への文化継承や史実の記録が喫緊の課題となっている。</p> <p>このことから、地域の歴史や伝承文化を知る民族関係者を対象とした聞き取り等により細部に亘る地域史の記録化を行い、屈斜路コタンアイヌ民族資料館での</p>

	<p>展示資料としての活用や、地域におけるアイヌ文化継承活動・アイヌ文化学習等の有効活用に向けた歴史的・地域資源のアーカイブ化を行う。</p> <p>■歴史的アイヌ民族写真資料保存活用整備事業  昭和40年から平成6年までに弟子屈町内や道東地域で行われた「イオマンテ」などアイヌ民族の記録として歴史的価値が高い写真資料を購入し適正に保存することを目的とし、併せて屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示資料としての活用や、デジタルアーカイブ化による関連自治体との広域連携への展開など道東地域のアイヌ文化振興に資する有効活用を推進する。</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業  ■屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業  屈斜路コタン地区にはアイヌ文化の発信とアイヌの人々の生業の充実を図るための活動空間として、屈斜路コタンアイヌ民族資料館があるが、建物の老朽化、建物全体に断熱性・気密性が乏しく冬季に開館できないこと、トイレが中2階にあり、障がい者の利用に適していないことなどの課題がある。  また、同地区には古丹生活館があるが、建設から53年が経過し、窓枠の歪みや雨漏り、配管の故障が生じるようになってきたほか、トイレは汲み取り式で浄化槽の設置もなく不衛生であり、施設利用に支障を来している。  このことから、地域に居住するアイヌの人々及び地域住民との懇談及び検討の機会を設け、同地区において屈斜路コタンアイヌ民族資料館・古丹生活館を中心とした施設整備を進めるための基本計画を策定し、拠点整備に必要な現地調査事業を実施する。</p> <p>■屈斜路コタンアイヌ民族資料館誘客対策事業  施設の利用促進を図るため、老朽化により撤去・未設置となっている看板を設置する。</p> <p>■屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示解説多言語化事業  訪日外国人及び視覚障がいのある方々の受入環境整備のため、展示資料の解説パネルの音声化・多言語化を行う。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業  ■多機能型生活館整備事業  アイヌの人々が多く住むコタン地域の生活機能の向上、加えてウタリ自然公園地域の魅力向上を目指しアイヌ文化の体験・伝承の場の創出を図るため、老朽化が著しい現在の古丹生活館を廃止し、多機能型生活館として新たなコミュニティ施設を整備する。</p>
6 事業の成果目標等	
(1)成果目標の達成に向けた工程	<p>(1)文化振興事業  ■屈斜路コタンアイヌ文化アーカイブ化事業  ■歴史的アイヌ民族写真資料保存活用整備事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業  ■屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業  ■屈斜路コタンアイヌ民族資料館誘客対策事業  ■屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示解説多言語化事業</p> <p>上記6事業は、地域におけるアイヌ文化の発信やアイヌ文化に触れる機会として観光客の誘致対策等ソフト面の充実によって、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指す事業であり、屈斜路コタンアイヌ民族資料館の改修と案内看板の整備、展示解説の多言語化、アーカイブ資料や記録写真の活用等を</p>

	<p>行うことにより、アイヌ文化のPRスペースの充実が図られるとともに観光資源としての魅力が高まり、屈斜路コタンアイヌ民族資料館の入館者数の増加が見込まれる。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業  <b>■多機能型生活館整備事業</b>  コタン地域のアイヌの人々の活動拠点となっている現在の生活館については建物の老朽化が進んでおり、バリアフリー化やトイレの水洗化等誰もが使いやすい環境整備をすることが求められている。新たに建設する生活館は、地域における生活機能の向上はもとより、アイヌ文化の保存・伝承活動の場としての多機能性を整備することによって利用者数が増えるほど、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現への効果が高まるものと考えられる。</p>
(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	(1)文化振興事業、(2)地域・産業振興事業 <b>■屈斜路コタンアイヌ民族資料館入館者数</b> (現状値) 令和2年度 870人/月平均 (中間目標値) 令和4年度 870人/月平均(現地調査) (最終目標) 令和6年度 960人/月平均(アーカイブ)  (3)コミュニティ活動支援事業 <b>■生活館利用者数</b> (現状値) 令和2年度 50人/月平均 令和4年度 50人/月平均(現地調査) (最終目標) 令和6年度 100人/月平均(新築工事)
(3)成果目標の確認方法	KPIである屈斜路コタンアイヌ民族資料館入館者数、生活館利用者数について実績値を公表する。また役場内にアイヌ文化振興に関する庁内会議を設置し、目標達成状況について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>弟子屈町においては、町名である「テシカガ」の由来が「テシカ(岩盤)」「ガ(上)」とアイヌ語であるように、札友内(サットモナイ≡サルトモナイ「サリ(湿地)」「トム(中)」「オ(…にある)」「ナイ(小川)」、屈斜路(クツシャロ≡クツチャロ「湖の水が流れ出る川口」と町内のほとんどの地名がアイヌ語を語源としており今も数多く残されている。</p> <p>本町のアイヌ文化の歴史的な遺構として代表されるチャシ跡についても、屈斜路湖の湖畔から町の中心を縦断する釧路川流域等を中心に8箇所あり、町全域がアイヌの人々が住む地域となっていたことがわかり、本町は現在もそのアイヌ子孫が数多く住む地域となっている。</p> <p>中でも本町の屈斜路コタンは、屈斜路湖の南東の湖畔に位置し、一級河川釧路川の源流部に隣接するとともに、阿寒摩周国立公園内にあり、コタン温泉や近隣には国有林野や農地が広がっており、アイヌの人々が最も多く住む地域である。</p> <p>屈斜路コタンの遺跡は、釧路川流域の最も奥に位置する縄文早期の集落址であり、狩猟、漁労、採集を中心とする独自の縄文文化は6世紀頃まで続き7世紀に入り擦文文化期を迎える。この中で現在のアイヌ文化の原型がみられ、それに続く13～14世紀頃にかけて、狩猟、漁労、採集や一部には簡単な農耕を行う中で、自然との関わりが深く、交易を行うアイヌの文化の特色が形成された。</p> <p>現在、屈斜路コタンには「屈斜路コタンアイヌ民族資料館」があり、厳しい自然との関わりの中で培われてきたアイヌの人々の生活の歴史などが紹介されている。近年の入館者数については最盛期の約20%まで減少しているものの、外国人</p>

	<p>の利用者が急増しており、展示内容の充実やソフト面の対策が求められる。</p> <p>また、1858年に松浦武四郎一行が調査のため屈斜路コタンに泊まりアイヌの人々と親交があったことから、同地区には「武四郎の歌碑」が建立され、歴史を伝えている。</p> <p>文化振興としては弟子屈アイヌ協会、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会などにより、アイヌ文化の紹介や伝承活動などが行われてきた経緯もあり、今後も同地区が先住民族であるアイヌの人々の心のよりどころとなるとともに、町内外や地域の人々との交流する空間として発展することが望まれる。</p> <p>しかし、近年ではアイヌ協会等の構成員の高齢化等による脱退者の増加などのため減少しており、アイヌ文化等の担い手が不足するなど、次世代への円滑な継承が課題となっている。</p> <p>更に、アイヌの人々の活動や生活の拠点となっている、古丹生活館については、老朽化が著しく利用に支障を来すなど、改修への要望が多い。</p>
(2)施設等の管理運営体制	<p>屈斜路コタン地区の屈斜路コタンアイヌ民族資料館及び古丹生活館は弟子屈町が管理している。</p>
(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>弟子屈アイヌ協会及び弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会については、町の担当課が総会に出向くなど、定期的に意見交換を行っている。</p> <p>しかし、近年、両組織については諸事情により脱会する会員がみられ、地域における組織加入率については、概ね半数程度と推察される。</p> <p>このため、地域での振興策について合意形成を図るためには、屈斜路自治会1区(コタン地区)でのアイヌ協会以外の住民を交えた懇談や町全体としての町民委員会の設置により、計画を進め、地域との合意形成を図る必要がある。</p>

## 8 収支予算

## (1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度精算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	200,000,000	32,439,000	167,561,000	0
市町村負担額	50,000,000	8,110,300	41,889,700	0
計	250,000,000	40,549,300	209,450,700	0

## (2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度精算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	10,670,000	9,914,300	739,000	0
委託料	10,670,000	9,914,300	739,000	0
地域産業振興事業	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
コミュニティ活動支援 事業	313,203,000	30,635,000	281,303,000	0
委託料	313,203,000	30,635,000	281,303,000	0
計	323,873,000	40,549,000	282,042,000	0
委託料	323,873,000	40,549,000	282,042,000	0
工事請負費	0	0	0	0